

2025（令和7）年度 委員会報告

看護師職能委員会

委員長 乾 寛美

1 委員会開催 6回

2 活動内容

(1) 研修会・講演会の開催

ア 令和7年度看護師職能集会講演会

テーマ「新たな看護の将来ビジョンについて」

講師 公益社団法人日本看護協会 会長 秋山 智弥 氏

内容 看護の将来ビジョン 2040～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～

日時 2025（令和7）年6月21日（土）

会場 とちぎ健康の森

参加人数 186名

イ 看護師職能Ⅰ研修会

テーマ「看護師業務のタスク・シフト/シェア

～多職種協働による取り組みの効果と課題～」

講師 済生会宇都宮病院 事務部長兼人事課長 山中 康彰 氏

芳賀赤十字病院 薬剤部 栗原 弘充 氏

獨協医科大学日光医療センター 看護師長 沼尾 ゆかり 氏

内容 看護師が患者の側で専門性を十分に発揮できる体制づくりに向け、各施設の組織・部門におけるタスク・シフト/シェアの実践を学び、自部署の現状と課題を見つめ直す契機となった。また、他施設とのグループワークを通して、研修で得た知見や考えを今後の活動へ生かすための有意義な情報共有の場となった。

日時 2025（令和7）年9月29日（月）

会場 栃木県看護協会研修センター

ウ 看護師職能Ⅰ・Ⅱ研修会

テーマ 「地域につなぐ活動の実際～患者の希望をあきらめない看護～」

講師 さつきホームクリニック益子 院長 榎原 剛 氏

獨協医科大学病院 がん看護専門看護師 岸田さなえ

内容 在宅医療は「よりよく生きる」ための手段であり、看護によって患者の人生の最期の景色を変えることができるという講師の強いメッセージから、地域連携強化の重要性について多角的な視点で考える機会となった。また、「患者の希望を紡ぐ、あきらめない看護」をテーマとした講義では、ACPや意思決定支援に関する知識に加え、具体的な事例や患者との関わり方を通して理解を深めることができた。

日時 2025（令和7）年10月27日（月）

会場 栃木県看護協会研修センター

エ 看護師職能Ⅱ研修会

テーマ 地域における高齢者の看取りの現状と課題

講師 看護小規模多機能型居宅介護あいさん家 代表 横山 孝子 氏
医療法人徳真会老人保健施設わたのの荘 看護師長 直井 好子 氏

内容 看護小規模多機能型居宅介護や老人保健施設における看取りの現状や事例を通して、豊かな看取りとは何かについて看護の視点から改めて考え、見直す契機となった。グループワークでは、病院・施設・訪問看護それぞれの立場から意見交換を行い、情報共有を深める場となった。また、患者や家族の思いを受け止め、その人らしさを尊重した看取りについて考える動機づけとなった。

日時 令和7年11月13日（木）

会場 栃木県看護協会研修センター

(2) その他

看護の日記念事業「看護フェス 2025」への参加

日時 2025（令和7）5月25日（日）

内容 展示スペースでの説明や看護体験

会場 ライトキューブ宇都宮

3 まとめ（次年度の課題）

本年度は、日本看護協会が示す「看護の将来ビジョン 2040」を踏まえ、看護職が専門性を発揮しながら地域社会の中で役割を果たしていくことを目的に、タスク・シフト／シェアの推進、地域連携の強化、ACP や意思決定支援、高齢者の看取りなどをテーマとした研修会・講演会を企画・開催した。講義や他施設とのグループワークを通して、参加者が自施設の現状や課題を見つめ直し、多職種協働や地域包括ケアシステムにおける看護職の役割について理解を深める機会となった。

一方で、看護職が専門性を発揮しながら地域と連携していくためには、現場での実践につながる継続的な学びと情報共有が重要である。次年度は、DX を活用した看護の実現、病院と地域をつなぐ看護師の役割、高齢者が安心して地域で暮らし続けられるための支援をテーマに取り上げ、看護職が地域包括ケアの中で果たす役割を再認識できるよう、情報提供と意見交換の場を提供していきたい。